

# 共済の今日と未来を考える懇話会 関連団体メンバー が意見交換

共済の今日と未来を考  
える懇話会は6月15日、  
東京都千代田区の衆議院  
議員第一議員会館で「自  
主共済を守り、共済、互

助会の今日と未来を語り  
合うつどい」を開催し  
た。当日は関連団体のメ  
ンバーや研究者などが出  
席。懇話会が現在の取り

れぞれ知恵を出し合い、  
互いに助け合う制度とし  
て発展してきた。こうし  
た制度は保険業法で規制  
されるべきものではな  
い。自主共済が生き残る  
道を勝ち取っていきたく  
い」と述べた。

ごとに懇話会の結成が進  
んでおり、地域に根ざし  
た活動を展開している自  
主共済の声を各地域の懇  
話会で取り上げ、全国的  
な活動に反映させていく  
との考えを示した。



## 会場のようす

組みなどを報告し  
たほか、参加団  
体の代表者がそれぞ  
れの団体の現状と  
今後に関して説明  
した。

懇話会の窓口団  
体である日本勤労  
者山岳連盟の斉藤  
義孝理事長は「共  
済は日本の社会の  
各層、各分野でそ

懇話会からは「会員の  
相互扶助を目的に運営す  
る共済団体に声をかけ、  
各団体が構成員のために  
長年にわたり運営してき  
た自主的な共済を従来ど  
おり運営できるように国  
會議員への陳情などを行  
ってきた」と報告。地域

当日参加した団体から  
は「自分たちで責任をと  
る、自主的な共済制度を  
残してもらいたい」「多  
くの団体と連携して活動  
していきたい」「共済を  
日本社会、地域の中で継  
続していくことは必要不  
可欠なことだ」などの意  
見が出された。